



# 地震災害編①「身のまわりの減災対策」

## ○ 屋外の減災対策

千歳市では、住民の方々の地震に対する不安の解消と住宅の耐震改修等を促進するため、戸建て木造住宅を対象とした無料耐震診断を実施しています。

### 対象住宅

- ・地上階数が2階以下で延べ床面積が500m<sup>2</sup>以下
- ・在来工法または枠組壁工法
- ・建設当時及び改修などの際の図面をお持ちの方

### お問い合わせ先

千歳市 建設部 建築政策課 建築指導係  
電話 0123-24-0751

□住宅の耐震性を確認しましょう。

1981(昭和56)年5月31日以前に建てられた住宅は耐震性が低いおそれがあります。

□玄関や風除室周りに通行の支障となるものを置かないようにしましょう。

□ベランダから避難することもあるので、常に整理整頓しましょう。

□灯油タンクはしっかりと固定しましょう。

□プロパンガスボンベは、しっかりと固定されているか、配管はぐらついていないか確認しましょう。



## ○ 高層住宅の減災対策



### ! POINTS

□高層ビルでは、周期の長いゆっくりとした大きな揺れ(長周期地震動)により、大きく長時間揺れ続けることがあります。長周期地震動により、震源から遠く離れたところでも大きく長く揺れることがあります。高層住宅では、固定していないキャスター付きの家具等は移動するため危険です。



### ! POINTS

□高層住宅では、配管の破損により排水できなくなる恐れがあります。それを知らずにトイレを使用し、排水すれば汚水があふれてしまいます。配管の無事が確認されるまで排水することは避けましょう。

地震は突然起こります。

家族の安全と、被害を最小限に食い止めるためにも日ごろからの準備が必要です。

家族で減災について話し合い、災害から身を守りましょう。



## ○ 室内の安全対策

地震時のケガの原因は、家具の転倒によるものがもっとも多く、室内が散乱することにより逃げ遅れてしまう原因にもつながります。家具などの配置や固定を見直してみましょう。

### ! POINTS

□家具などを配置する場合は、出入口や就寝位置と重ならないように注意しましょう。

### ! POINTS

□カーテン、カーペットや寝具などは、防災加工されたものを使用しましょう。

### ! POINTS

□背の高い家具や本棚は、L型金具などで壁に固定しましょう。タンス・本棚などに収納する時は重い物を下に、軽い物を上に収納しましょう。

### ! POINTS

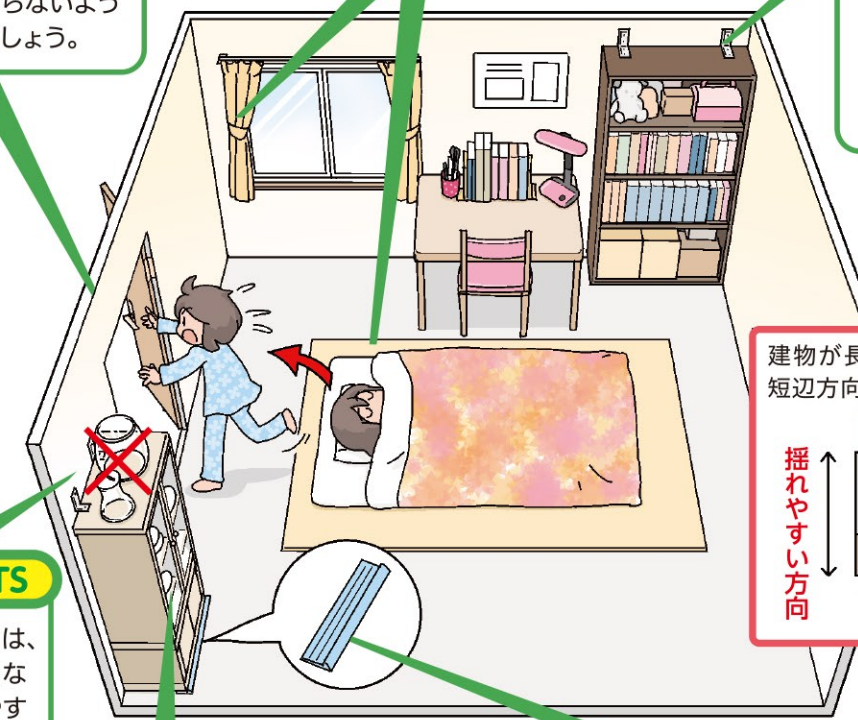
□家具の上には、ガラス製品などの割れやすい物は置かないようにしましょう。

### ! POINTS

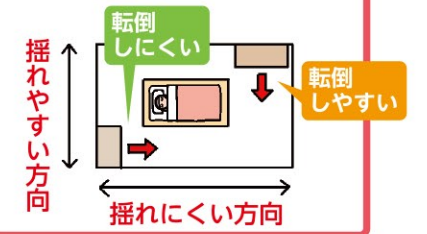
□家具の扉などにガラスが使われている場合は、飛散防止フィルムをはりましょう。

### ! POINTS

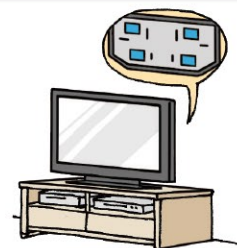
□家具や本棚の下に転倒防止のストッパーを置き、壁にもたせ気味に配置しましょう。



建物が長方形の場合、構造的に短辺方向に揺れやすくなります。

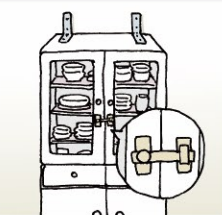


### テレビ・パソコン



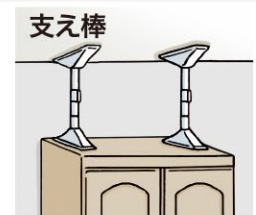
□できるだけ低い位置に固定して置き(家具の上はさける)、金具や耐震マットなどで固定しましょう。

### 食器棚



□L型金具や支え棒などで固定し、棚板には滑り止めシートを敷きましょう。扉は開かないように留め金具をつけましょう。

### タンス・本棚



□L型金具や支え棒などで固定しましょう。上下2段タイプのものは、つなぎ目を金具で連結しましょう。

### 暖房機器



□耐震自動消火装置付きのものを選び、周囲に燃えやすい物を置かないようにしましょう。